

## 芳しよの増殖に関する研究 (第3報)

日本専売公社しよ脳試験場 森 太三郎・西野 勲・国生 哲夫  
和田 功・北之園陽徳・熊谷 拓

本研究に関する第2報迄は主に増殖の手段としての挿木方法に就いてその試験結果を報告して来たが、今回は芳しよの栽培試験並びに昭和27年9月台湾より輸入された種子に関して現在迄得られた結果を報告する。

### 実施した試験の概要

#### 1. 栽培試験

供試苗及び本数 芳しよ実生3回床替苗570本  
植栽年月日及び植栽方法 昭和25年3月17日 1m<sup>2</sup>×2m  
育苗方法 毎年5月8月除草 5月反当100貫堆肥を施肥  
試験区 A. 毎年台切 B. 植栽後2年据置後毎年台切り

#### 2. 輸入種子の播種試験

播種方法 9月温室温床播種、3月本圃え移植3月本圃に播種6月発芽遅く移植

調査事項 発芽状況、生育状況、品種鑑別等

### 試験の結果並に考察

#### A. 栽培試験

1, 昭和26年より昭和28年に到る毎年3月伐採時の生長量は第1表の通りである。

第1表 年次別個体生長量

年次区分	樹高 cm	根径 mm	萌芽 本数 本	1本当 採油量 gr
昭和26年3月	68	19.5	2	1.8
昭和27年3月	152	29.1	3	7.6
昭和28年3月	124	22.3	12	13.6

上表に依ると植栽後1年間は期待した生長を認めないが2年目以降に於て顕著な成績を示しつつある。

2, 毎年台切りする区(A)1年据置2年目以降台切りする区(B)両者の比較(生長量)

第2表 毎年台切りする区(A) 1年据置2年目以降台切りする区(B) 両者の生長量比較

区分	台切年月	樹高 cm	根径 mm	萌芽 本数 本	全重量 kg	蒸溜 試料 kg	採油量 gr	試料に対する 採油率 (薬枝9:1) %	全木に 対する 採油率 %
A	昭和27.3	142	24.9	3	2.574	1.298	15.8	1.22	0.61
	28.3	189	34.3	13	3.879	2.056	25.8	1.30	0.69
B	27.3	177	37.5	2	3.740	1.793	22.6	1.26	0.60
	28.3	154	28.9	12	3.153	1.607	18.7	1.16	0.59

第2表に於て明かな如く毎年台切り区は28年に於ては27年より約4割生長量採油量が増大し、2年据置区は約2割減少して居る。大体上表を考察した結果としては植栽当初2年間据置く栽培方法は更新年限については未知数であるが、生長量に於ては毎年台切りする区に劣りまた過去3ヶ年間の採油量合計に於ても毎

年台切り区が優つて居るから毎年台切りした方が経営上有利である様に思考される。

#### B. 台湾輸入種子の播種試験

##### 1, 発芽成績

9月温室温床に播種した東部種、3月播種した東部種、西部種の発芽成績は第3表、第4表の通りである。

第3表 東部芳しよ9月播種分発芽成績

場所	播種粒数	播種月日	発芽開始	発芽 締切月日	発芽締 切日数	発芽率	発芽 本数	3月移 植本数
温室	12,396	9月5日	9月22日	12月8日	93日	74.77%	9,269	6,184
温床	8,400	9月8日	9月26日	12月13日	97日	77.00	6,458	5,824

第 4 表 東部種西部種3月播種分発芽成績

種子区分	貯蔵区分	播種月日	発芽開始月日	発芽締切月日	発芽締切日数	発芽率	発芽本数	摘 要
西部種	土中埋蔵	3.15	5.7	7.2	100	91.1	11,870	昭27.12.種子入手
東部種花蓮港Ⅰ	冷蔵庫	3.8	5.8	7.14	129	15.4	9,235	昭27.9.種子入手
玉里Ⅱ	土中埋蔵	3.23	5.7	6.25	95	12.7	310	昭28.1.種子入手
台東Ⅲ	土中埋蔵	3.25	5.23	6.25	93	4.4	233	昭28.1.種子入手
大宇Ⅳ	土中埋蔵	3.9	5.22	6.24	108	1.1	283	昭28.1.種子入手

以上の結果より考察すると8~9月採種する東部種は直播するのが適当で翌年3月迄貯蔵する事は一応不適當である様に思考される。

2. 東部種芳しよの移植

9月温室温床に播種した苗木は3月に移植を行い又3月播種した苗は6月~7月に移植を行った。移植本数並びに活着状況は第5表の通りである。

第 5 表 東部種芳しよの移植成績

区 分	移植本数	活着本数	活着率	調査月日
3月移植温室9月の分	6,184	5,350	86.5	5.19
3月移植温床9月の分	5,824	5,711	98.1	5.19
6~7月移植3月播種分	10,061	8,161	81.1	10.13
計	22,069	19,225		

上表に依ると温室温床の二区で活着率に10%程度の差があるこれは温室内の苗は徒長した感があつたためと思われる。又移植するに当つては着葉3~4枚程度が一番移植成績が良好な様に感ぜられる。

3. 成 育 状 況

10月現在の生長量は第6表の通りである。

6表に依ると西部種は内地くすに比較して優秀な生育をなすが、東部種は内地くすに比し劣つているこれが今後西部種と異つた生育状態を示すならば栽培面に於て東部、西部区別して検討する必要が生じて来ると思われる。

第 6 表 芳しよの生長量 (10月現在)

区 分	樹高 cm	内地くすに對する比	根径 mm	内地くすに對する比
東部種9月播種3月移植分	85.5	248	9.60	165
東部種 3月播種分	26.4	77	5.21	89
西部種 3月播種分	57.2	166	7.81	134
内地くす 3月播種分	34.5	100	5.83	100

4. 主精油成分に依る苗木の鑑別

含有主成分に依つて苗木を鑑別する作業を概ね終了したのでその出現度を示せば第7表の通りである。

第 7 表 品種鑑別成績 (出現度)

含有主成分	東部種芳しよ	西部種芳しよ
リナロール	37.29%	50.48%
セスキテルペン	22.80	7.82
サフロール	2.42	1.31
シネオール	9.70	1.54
しよ脳	27.40	38.57
ボルネオール	—	0.04
未定	0.39	0.24

結 び

以上栽培試験と台湾より輸入された種子の育苗経過に就いて御報告致しましたが、その後も種子が輸入され、又栽培試験も引続き実施致しておりますので、それ等に就いては今後御報告致し度いと思ひます。

くすの幼時における生長促進試験

日本専売公社しよ脳試験場 森 太 三 郎・深 田 登

1. 緒 言

くすの苗木を林地に植付後雑草の刈拂苗木の周囲の鍬入れ林地の耕作及び施肥等時期によつて生長にどんな違いが現われるかを調べるため昭和26年度より実

施した。

2. 試験の方法

植栽場所 鹿児島市坂元町試験場常安林地  
地 況 方位西南、傾斜急斜、湿度潤、深度浅中、